

えんど久子県議 教員らの性犯罪をなくすために提案

職員研修で 人権を尊重する性教育を

性犯罪は絶対に許せない

高校の元教諭が不同意わいせつの罪で起訴、小学校教諭が少女に性的画像要求疑いで逮捕、巡査部長が女性警察官を盗撮容疑で書類送検など、性犯罪が相次いでいます。県内の教員によるわいせつ事件は、2019年以降で懲戒免職処分が13件もあります。性犯罪・性暴力は断じて許せません。

9月18日の県議会文教警察委員会で、猿渡（えんど）久子県議は職員のわいせつ事件など不祥事について発言。

なぜ繰り返されるのか

「なぜわいせつ事件が繰り返されるのか。包括的性教育（人権教育をベースにした性教育）を受けていないことが原因の一つとしてあるのではないか。偏った性的情報があふれている背景があり、職員研修で包括的性教育をぜひ取り入れてもらいたい」と、えんど県議は提案。

包括的性教育を検討と答弁

担当課長は「事あるごとに研修や通知を出すなど注意喚起をしているが、不祥事が続いて申し訳ない。…今後も粘り強く職員に訴えかけていきたい。包括的性教育については、そういった観点で取り組めるか考えていきたい」と答弁しました。

18日午後、えんど県議は警察にも同様に求めました。県警本部長は「包括的性教育の話があったが大事な話なので、相手に寄り添って対応できるように教育してきたが、これからも継続してやっていきたい」と答弁。

この直後に性的画像要求疑いの事件が明らかになりました。

性犯罪から守るための教育

えんど久子県議は、2022年12月に子ども達を性被害から守るために、お互いを尊重しより良い人間関係をつくることを目指す包括的性教育を学校で実施すべきだと一般質問しました。

性別を問わず性被害をなくすために、世界ではスタンダードになっている包括的性教育を今後とも求めていきます。

文教警察委員会でわいせつ事件について質すえんど久子県議（中央）
24.9.18.



えんど久子県議 誰もが学べるようにと求める



奨学金は返す必要がない給付型に

教員になれば返済なしにできないか

9月18日、県議会の文
教警察委員会、猿渡（え
んど）久子県議は、教育庁
に対し奨学金の問題で質問。
「奨学金は貸与でなく、
返済がいらぬ給付型を増
やすべきだ。あるいは、教
員を目指す学生が教員にな
れば返済の必要なしなど、
返済の負担を減らすべきだ」
という趣旨の発言をしまし
た。

220万円を17年で返還

大分県奨学会の私立大学
の奨学金は、貸付額は月4
6000円、4年間で22
0万8000円（無利子）
借りて、年間13万円17
年弱で返還する計画だとの
ことす。
高校でも奨学金を借りた
場合はさらに返済額は多額
になります。
返還率は7割ほどに下がっ
ています。

大分県としても努力すべき

返還猶予や国の動向につ
いての答弁がありました。が、
えんど久子県議は「不安定
雇用、低賃金の働き方が増
えており、夫婦で奨学金の
返済があり子どもが欲しい
が子どもをもてる経済状況
にない、との声を聞く。誰
もが学べる環境作りに県と
しても努力してもらいたい」
と重ねて求めました。



米軍の性犯罪 県内はないのか

大分県警察本部に対して
「沖繩などでの米軍の少女
などへの暴行事件に怒りが
ひろがっており、他人事で
はない。大分県内では米軍
による事件はないのか」と
えんど久子県議。
「データを確認できるH
元年からの刑法犯とH2年
からの特別法犯を確認した
が、米軍の構成員による事
件の検挙はない」との答弁
です。
今後子どもや女性の安
全に努力いただきたいと求
めました

教育庁に対し「県立学校体育館のエアコン設置をなるべく早く」
「猛暑で外で遊べない子ども達の居場所を増やすべき」「通信制
高校のレポート提出はデジタル化すべき」「支援学校の児童生徒
が増え、教室やスクールバス・停留所の確保に教育委員会として
も努力すべき」などについても求めました。

24. 9. 18. 委員会審議で発言するえんど久子県議（右端）